

### (3) 地方循環器病基幹施設の現状報告

中村一彦 鹿島友義

#### CURRENT OVERVIEW OF A LEADING HOSPITAL FOR CARDIOVASCULAR DISEASES IN THE REGION

Kazuhiko NAKAMURA and Tomoyoshi KASHIMA

当院は昭和56年4月、旧鹿児島大学医学部附属病院跡地に国立南九州中央病院として開院した。当院は開設当初から高度医療（循環器病、ガン）を行う病院として位置付けられていた。しかし、旧国立病院の機能を引き継いだため、専門的高度医療を行う体制にはなかった。平成3年までの10年間は診療科の改編、平成4年より循環器病、ガン診療を行う体制づくりに努めた。そうした中で Fig. 1 に示すように、当院の冠動脈造影検査数は約4倍、冠動脈形成術数は約5倍、開心術数は約3.5倍に増えてきた。

#### 地域循環器病診療の中で当院の占める位置…量的な面

当院の循環器病診療の位置を知るために、鹿児島県の

冠動脈検査の出来る施設30ヵ所に平成14年度の冠動脈造影検査、冠動脈形成術、ペースメーカー植え込み術、開心術などの件数をアンケート調査した。30のうち28の施設より回答（93.3%）が得られた。主要な施設からは回答が得られており、おおよそ鹿児島県の実態を表していると考えられる。

鹿児島県における冠動脈造影検査、冠動脈形成術、ペースメーカー植え込み術、開心術の件数はそれぞれ8,549件、2,422件、731件、774件であった。なお、鹿児島県の総人口は178万人、40歳以上は100万人である。

冠動脈造影検査、冠動脈形成術の件数の多い上位10病院を Fig. 2 に示す。A は当院でいずれも1位であり、冠動脈造影検査は鹿児島県で行われている全件数の15.7%

、冠動脈形成術は24.7%を占めていた。ペースメーカー植え込み術は当院101件で一番多く（全体の13.9%）、開心術は当院253件で2位（全体の32.7%）であった。緊急冠動脈形成術件数も当院は161件で1位、2位の施設は80件であり、当院の件数の多さが示された。

以上、鹿児島県の循環器病診療を量的な面からみると当院は冠動脈造影検査、冠動脈形成術、ペースメーカー植え込み術の件数はいずれも1位、開心術は2位であり、地域の循環器病診療のなかで重要な一角を占めていることが示された。

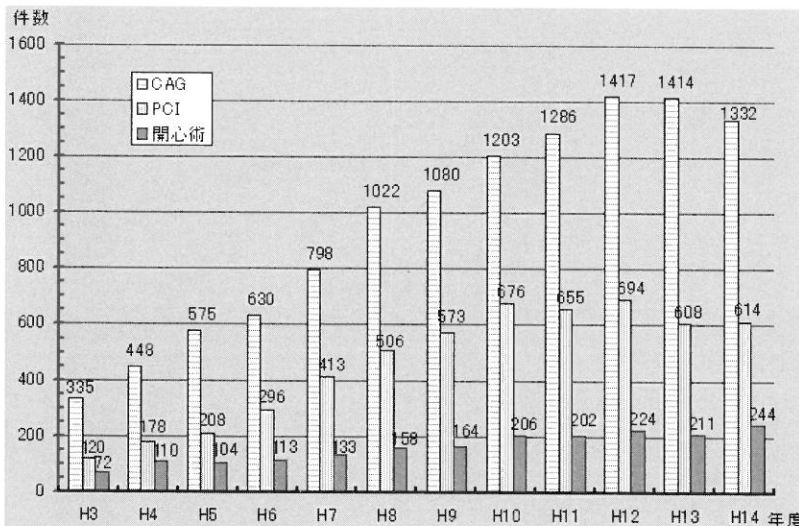


Fig. 1 Changes in cumulative number of coronary angiography (CAG), coronary interventions (PCI) and open heart operations performed in our hospital

国立病院機構九州循環器病センター NHO Kyushu Cardiovascular Center 循環器科

Address for reprints : Kazuhiko Nakamura, National Hospital Kyushu Cardiovascular center, 8-1 Shiroyama-cho, Kagoshima 892-0853 JAPAN

Received August 17, 2004

Accepted October 15, 2004

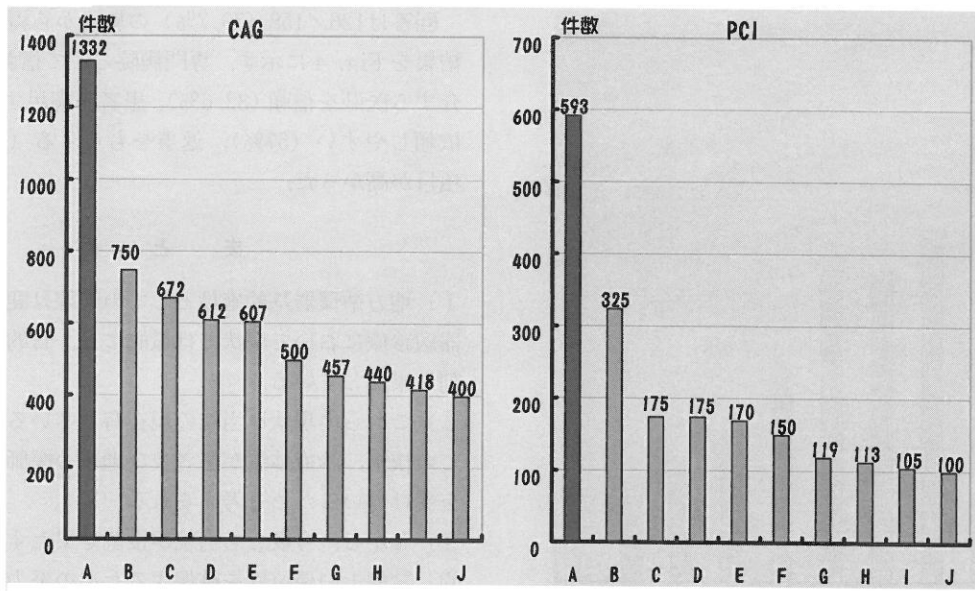


Fig. 2 Comparison among cumulative numbers of coronary angiography (left panel) and coronary interventions (right panel) in Kagoshima Prefecture in years of 2002. List of hospitals ranked within top ten (The alphabet indicates individual hospital. Our hospital corresponds to A in both panels)

地域循環器病診療の中で当院の占める位置…質的な面

先に示したアンケート調査で同様に循環器病診療の質的な面も調査した。冠動脈疾患の治療に関しては冠動脈形成術の行える施設は23施設であり、急性期のみを行っている施設が3カ所、急性期と一部の慢性期のみ行う施設が7施設、急性期、慢性期とも行える施設が13施設であった。冠動脈形成術の手技の内、バルーン、ステントのみの施設が17カ所、DCAまで行う施設が2施設、ロータブレードまで行う施設は4カ所であった。冠動脈バイパス術は6施設で行われていた。冠動脈疾患の上記全ての治療手技が行えるのは当院を含めて3施設のみであった。

不整脈治療に関してはペースメーカー植え込み術、カテーテルアブレーション治療、ICDの植え込みの行える施設はそれぞれ28施設、5施設、2施設であった。したがって不整脈治療のこれら全ての手技が行えるのは当院と鹿児島大学病院の2カ所のみであった。

患者さんアンケート調査

当院第2循環器科に平成15年8-9月に入院した連続118名の患者に当院に入院した経過についてアンケート調査した。性別は男性79名、女性39名、年齢は40歳以下11名、50歳台13名、60歳台29名、70歳台47名、80歳以上17名であった。居住地は鹿児島市内58.5%、鹿児島市以外の県内39.0%、鹿児島県外2.5%であった。

Fig. 3にその結果を示す。当院に入院した経過は医師の紹介が82.2%でほとんどを占めた。

紹介病院アンケート調査

患者アンケートの結果は当院への入院のほとんどが医

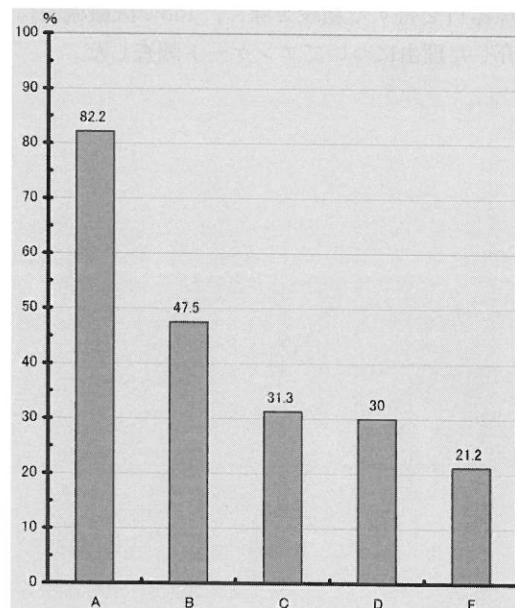


Fig. 3 Inquiry for inpatients: Why do you visit our hospital for heart care? (A: referred by a physician, B: specialty, C: reputation, D: national hospital, E: easy accessibility)

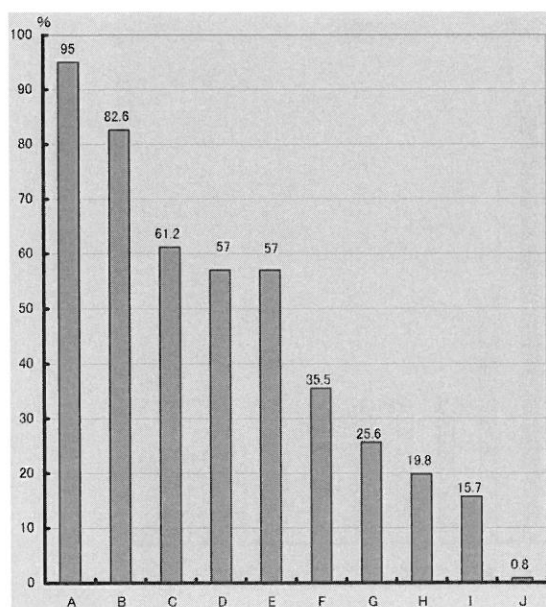


Fig. 4 Inquiry for referring physicians : Why do you refer your patients to our hospital ?  
(A : specialty, B : holding expert doctors, C : patient satisfaction, D : consultative services, E : answer report, F : return of patients, G : cardiovascular surgery, H : state-of-the-art medicine, I : patient's wish, J : national hospital)

師の紹介であったので、紹介先病院へ当院に紹介する理由をアンケート調査した。

平成15年4月-7月までの4ヵ月間に当院第2循環器科外来に174の医療機関より379件の紹介があった。この内循環器科を有する施設を除く、158の医療機関に当科に紹介した理由についてアンケート調査した。

回答は126/158 (79.7%) の施設から得られた。その結果を Fig. 4 に示す。専門病院として信頼 (95%)、紹介する医師を信頼 (82.6%)、患者が満足する (61.2%)、依頼しやすい (57%)、返事をもらえる (57%) などの項目が高かった。

#### ま と め

- 1) 地方循環器基幹施設としての当院は鹿児島県の循環器病診療において現状では量的にも、質的にも重要な役割を果たしている。
- 2) これらの現状は当院の現在有している専門病院としての技術、診療体制が患者及び地域の医師に一定の支持を受けているためと考えられる。
- 3) しかし、今後とも当院が役割を果たすためには技術的、診療上の優位性を確保するための努力が求められている。

#### 文 献

- 1) 第11回日本心血管インターベンション学会学術委員会アンケート結果. 心血管インターベンション 18 : 31-37, 2003
- 2) 虚血性心疾患の診断と病態把握のための検査法の選択基準に関するガイドライン : Japanese Circulation Journal 64 (Suppl V), 2000
- 3) 鹿児島県の生活習慣病 31 : 2002  
(平成16年8月17日受付)  
(平成16年10月15日受理)